

令和3年度 学校経営計画書

学校名	倉敷市立玉島高等学校
校長氏名	辻田 詔子

○ 本校のミッション(使命、存在意義)

人に優しく自己に厳しい人格の形成と、社会人としての義務と権利の理解により、明るく健康な家庭をつくる倉敷市民を育てる。

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン(将来像、目指す姿)

- 1 不登校を経験した生徒、学び直しがしたい生徒や働きながら学びたい生徒が、社会人として通用する力(考える力、突破する力、他者とつながる力)を身に付けることのできる学校。
- 2 教科指導を通して、「主体的・対話的で深い学び」、「個別最適な学び」のできる学校。
- 3 ルーブリックを活用して、時間管理・基本的な生活習慣を身に付けることのできる学校。
- 4 自己の在り方や生き方を考えさせる進路指導を通して、望ましい職業観や勤労観を育成しながら、卒業後の目標を実現することのできる学校。

○ 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

1 生徒が意欲的に学ぶ授業の展開

- (1) 単元目標や毎時間の授業目標を生徒ともに共有し、生徒にとって見通しが持てる授業の実践をする。
- (2) 「振り返り」のある授業を実践し、生徒が達成感や自分の成長を実感できる授業を行う。
- (3) 校内外の公開授業、研究授業を各教員、全体で定期的実施し、授業改善を図る。

自立

2 生徒の基本的な生活習慣の確立

- (1) 生徒の生活実態(学習・アルバイト・部活動)を定期的に把握し、家庭と連携して学労両道を勧める。
- (2) あいさつの励行や言葉遣い、社会法規や校内のきまりの遵守の大切さについて、外部による講演会を開催するなど、継続した指導を行う。
- (3) 5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の徹底と習慣化を図る。

挑戦

3 生徒・保護者への体系的な進路指導の実施

- (1) 進路に関する現状分析を定期的に行い、情報提供することで生徒・保護者の進路意識を高め、個別進路先への対応を充実させる。
- (2) インターンシップ、ボランティア等の体験的な活動や地域での活動を通じて職業観・勤労観の醸成を図る。
- (3) 社会で通用する所作及びコミュニケーション能力を身に付けさせる。

協働

4 学校の活性化

- (1) 新学習指導要領での3観点(「知識・技能」「思考力・表現力・判断力」「主体的に学習に取り組む態度」)の評価について研究し、令和4年度から実施できる体制をつくる。
- (2) 外部専門機関と連携し、特別(個別)支援教育に対する校内組織体制をつくる。
- (3) 本校の具体的教育活動、情報を地域、中学校等へ発信・周知する方策を検討・実施する。